



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD  
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、  
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ  
～我がクラブの志と共に～

## 第27回(通算1641回)例会報告

令和6年2月9日(金)

## 国際奉仕担当例会

## 出席報告

総会員数58名(計算会員数52名) 欠席13名 出席率75.00% 前々回修正出席率88.24%

## 歌/会場

我らの生業

会場: ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

## 会長の時間

## 山本雅久会長



皆さんこんにちは今日は鈴木委員長の国際奉仕委員会によるは今年度のプログラムについての説明例会となります。

国際奉仕外国のロータリークラブ(ベトナム)が社会主義国のためロータリークラブ事態がございません、そのために公の活動をどのようにするか不安でしたが婦人会の幼根組織があるようでその承認を獲得しないと奉仕活動が認められない社会構造になっています。個々の承認を獲得できたそうです。その後の報告発表はまた後ほどです。来週はそのフォーラムになります。会員の方々の意見をだしていただき、実のある奉仕活動としたいと思っていますロータリーの誕生、日本東京、大阪、豊橋について少し話させていただきます。

日本におけるクラブナンバーワンは東京ロータリークラブで大正9年10月20日、東京丸の内銀行クラブという建物で超一流の実業家24名によって創立されたのであります。初代会長は米山梅吉、初代幹事は福島喜三次でありました。例会は月1回、第二水曜日でありました。当時は真面目にロータリー活動していなかったようです。。。。。。。

我がクラブにおける親クラブは豊橋ロータリークラブであります。我がロータリークラブ創立にあたり5名の豊橋ロータリーの方々が出向者され創立に努力されました。いあたり野元三氏初代会長、梅村東会員初代幹事、石田喜運会員、中村泰明会員、高沢博久会員らの協力で36年まえの10月28日に設立した。46名のチャーターメンバーによって豊橋ゴールデンロータリークラブが設立された。今年度は36周年の記念の対外的な大きな行事は行わず、内部充実に専念することとします。皆様のご協力を感謝申し上げます。有難う御座いました。

## 誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



梅田英樹会員

## ロータリーの友読みどころ

## 高橋哲也雑誌委員



## 【横組み】

&lt;5 ページ&gt;

RI会長(ゴードンRマッキナリー氏)メッセージ。ここではロータリー活動を通じて地域社会へ積極的に参加すれば、ロータリーが持つ強みを地域社会が認識していき、それが地域社会など奉仕をする相手とのつながりを生み、同時に会員のメンタルヘルス向上へつながるという好循環を生み出すということが書かれている。

&lt;8~15 ページ&gt;

2月は平和構築と紛争予防月間。「平和は学び、知ることから」という特集のなかで、ガザ地区の中学生と武田中学高等学校インターアクトクラブ(広島県東広島市)との交流について書かれてある。このインターアクトクラブでは、ガザ地区で教師経験があるアメリカ人の先生の影響で元々、オンラインでの交流があったところ、日本が国連パレスチナ難民救済事業機関の支援70周年記念事業として開催されたツアーで、ガザに住む3人の中学生と柔道体験などを通じた直接交流をする機会に恵まれたとのこと。この交流日が10月6日だったそうだが、くしくもその翌日にパレスチナを実効支配しているハマスがイスラエルに



攻撃を仕掛けた日だった。インターアクター4人の生の声も掲載されているのでご一読を。

<16~20 ページ>

裏千家第15代家元であり国際ロータリー元理事、京都ロータリークラブ所属の千玄室(せんげんしつ)さん、100歳を迎えてという記事。そのなかで、「ロータリーというのは、ご飯を食べて、お話をするだけではない。自分を磨く場所。心を磨く。絆を持つ。そしてみんな、手をつなぐ。この素晴らしさをもって日常の仕事をし、人に接し、行動することにより少しでも前進している自分の姿が大事。」と説いている。

<28~35 ページ>

ロータリーネットワークのなかで、当地区2760地区の刈谷RCの記事が掲載されている。クラブ創立70周年を記念し、グローバル補助金を利用してタイ南部の病院へ保育器とエコー検査機器を寄贈した内容が記載されている。

【縦組み】

<9~12 ページ>

この人を訪ねてのなかで、2020-21 燕ロータリークラブ(新潟県燕市)会長で23-24地区職業奉仕委員長の青柳修次(あおやぎしゅうじ)さんが取り上げられており「コロナ渦でロータリーを見つめ直す」というタイトルの記事が掲載されている。青柳さんは生活雑貨や福祉用品の企画開発、製造、販売する会社の代表ですが、NPO法人「府度バンクつばめ」を立ち上げ子ども食堂を運営したり、それ以外にもリノベーション事業部を作って改修工事を行ったり、他にもレストラン事業、サウナ施設など次々と夢を実現させている行動力に感銘を受けた。

<20 ページ>

卓話の泉。「サクラ」についてのミニ知識が掲載されているので紹介する。今年が開花が早いと予想される桜だが、お花見という習慣は奈良時代に生まれたとされ、外来種であるウメやモモが主流だったが、平安時代になって昔からあるサクラが鑑賞対象となった。日本の山に自生しているサクラは10~11種類あるそうだが、普段よく目にするソメイヨシノは人為的または自然に交配してできたもので、接ぎ木で増やしていく。同じ遺伝子を持つソメイヨシノ同士の同志の受粉はしないため「クローン桜」である。

会員スピーチ

「私が今まで育んできたこと」

「私が現在育んでいること」

「私がこれから育んでいきたいこと」

太田和彦会員



本日は貴重なお時間を、お借りいたしました。5分というお時間、お聞き苦しいところがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

私は、亡き父のあと、有限会社森永牛乳豊橋販売所の2代目として、代表をさせて頂いています。7年前父は、趣味がゴルフで、毎朝、早くに起きて、ゴルフの練習に出かけていました。

ゴルフの練習に出掛けようとしたとき、その日まで、元気に仕事と趣味のゴルフに励んでいたのですが、突然、「胸が苦しい、痛い」と言い、倒れてしまい、救急車で搬送されたものの、そのまま意識が戻ることはありませんでした。その時は突然のことで受け止めることがなかなかできませんでした。そして、病弱だった母は、気力も無くなり、私と妻は、母を気遣い、支えながら、今日まで過ごしてきました。いまでは母と、父の思い出話に自然と笑みがこぼれる日もあります。

辛い現実を乗り越えるには、時間をかける必要があると理解しながらも、代表として長男として、突然のことで不安もあり、悩むことが多くあり、たくさんの時間が必要でした。

そして、いろいろな手続き、作業、など期限が決められて、すぐにおこなわなければいけないことが、たくさんあり、一つ一つ整理しながらも、悩む日が多く続いていました。

そんな日々が続く中、私の周りには、家族、会社など、たくさんの、人たちがいて、そんなたくさんの人たちに支えていただきながら、助けていただき、今日があります。

死に向き合ったとき、人は、「命の意味」について、思い考えることが、あるかと思えます。

私も思い、悩み、考えることが多くなり、人は、この世の中に、ひとり存在するのではなく周りのたくさんの、人々の「命」と共に、生きていることに、気づかされました。

家族のことを、もう一つ、お話しさせていただきます。

私と妻は、今年、結婚40周年を迎えます。

妻は、結婚してからも、元気で、病気知らずで、一緒に仕事をし、過ごしてきたのですがおととしの暮れ12月に、癌の告知とともに、ステージがすでに4の末期であると診断されました。

腫瘍の結果が出る前まで、良い結果でも、悪い結果でも、先生から伝えられたことに、妻は、「覚悟はしている。」と、話していました。でも、わたしは、良い結果を願うばかりでした。

私、家族、私の周りでお世話になっている人たちの願いは、届かず、信じたくない事実が、降ってきてしまいました。

妻は、覚悟はしていると、話していましたが、突然、泣きくずれてしまいました。

私は、背中をさすりながら、「先生、看護師さんたちがついているから大丈夫だよ」「一緒に頑張ろうね」と声をかけてあげることしか、できませんでした。



先生からも「一つ一つ、できる治療して、一緒に頑張りましょうね」と優しく話していただき、看護師さんも優しく、妻の涙をふいてくれました。

妻は、少し心も落ち着き、「よろしく願いいたします」と話すことができました。

突然、降ってわいた信じがたい事実、わたしたちは、不安と心配が頭を、よぎりました。

わたしたちは、「先生を信じて、今、できることを、一つひとつ、希望を持って前を向いていこう」と涙しながら、話しをしました。

その後、無事、手術を終えて、昨年5月まで、抗がん剤治療を受けて、今では、妻の頑張りもあり、仕事も全開に復帰できるようになるまでに、元気になっています。

今日というこの日を、迎えることができたのも、みなさま方の、優しい励ましのお言葉と周りの温かい支えが、あったからこそ、今があると思っています。

あたりまえのこと、今があること、に幸せを感じることができ、みなさま方に、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、命は、本人にとって大切なものだけでも、その人だけでなく、関わってきた人すべてにとってかけがえのないものだと、感じました。

命あるもの、必ずいつか、死をむかえます。これは、避けられないことだと思います。

今は、人生100年時代ともいわれます。しかし、自由に動き回るには、限界があります。

生きていくためには、仕事はとても大切ですが、これからも、自身の身体を観察し、体調管理に、目を向けながら、心身ともに、健康でいられるように、お互いに身体を気遣い、ストレスのない時間を過ごしていきたいと思えます

そして、両親から授かった、一度だけの命を無駄にしないように、**生きている時間、命の時間**を大切にしていきたいと思えます。

与えられた命を楽しんでいくためにも、仕事、治療や病気に向き合う、以外の時間も大切にしていきたいと思えます。

離れて暮らす親、子供、孫の笑顔を見て、楽しく過ごす時間、そして、もうすぐ19歳を迎える、愛犬との思い出作りの時間、妻との楽しい旅行という時間も、これからも大切に過ごしていきたいと思えます。

そして、ある医師の言葉があります。

『自分の時間を他人のために、使ってください。自分のためではなく、だれか人のために自分の時間を使うことこそ

が、その人が本当に生きていることになります。』

この言葉を、心にとめて、今後の糧にしていきたいと思えます。

### 中村信祐会員



皆さんこんにちは。会員スピーチの時間をいただきありがとうございます。2021年の6月に入会し、ようやく3年が近づいて参りました。その間、フォーラムや様々なイベントを通じて会員の皆様と交流させていただき、私なりに色々と考え、気づきを得ることのできる貴重な時間だったと感じています。その意味でも、今回のスピーチのテーマでもある「育む」という観点では、3年前に豊橋に参りましてから、色々な面で育んで頂いてきた、と実感しております。この場をお借りしまして、感謝申し上げます。

さて、お題に沿ってですが、私からは2つの話をさせていただきます。いずれも「現在育んでいること」となりますが、まず一つ目としましては、私が勤務する東京海上日動という保険会社におきまして、次の時代を担うメンバーの育成、という点になります。三河支店には現在約100名弱のメンバーがおりますが、ある意味昔からの保険営業を前提に育ってきた者が多く、時代変化や環境変化にしっかりとついていけるのか、そして、多様性や複雑性が増すこの社会の中でお客様の想いを汲み取りながら本当に大切な価値のお届けができるのか、という点で自問自答を繰り返す日々です。保険業界は、古くから「People's business」と言われてきました。目に見えない商品を事故が発生する前段階でお届けしていく、という性質からも、その担い手の力、価値をお届けする力、が問われます。その前提には、何のために仕事をしているのか、というパーパスをしっかりと肚に落とし、倫理的・道徳的側面からも他に恥じることの無い真正面からの行動が求められます。昨年には、某モーター会社さんを中心に保険に係る大変恥ずかしく残念な出来事もございましたが、そうした中であっても正しいことを正しく行うことへの歯止めは、人そのものでしかありません。そうした意味で、やはり社員をしっかりとパーパスに沿って育む、ということに挑戦し続けているわけです。その一環として、能登半島地震を始めとする災害現場での活動は大変大きな意味を持ちます。現在も、全国から300名以上の応援を派遣し、地震保険の一刻も早いお支払いに取り組んでおり、三河からもメンバーを派遣しています。そうしたメンバーが応援から戻ってきた際には、一回り大きく成長した、パーパスを体感して戻ってきた、そのように感じる瞬間でもあります。また、私自身は、コミットメントとアスピレーションの2つをメンバーに開示し、とことん自分の想いを伝え続けることを実践中です。コミットメントは言葉の通りメンバーへの約束、アスピレーションは「譲れない想い」のようなもの。実際に文字にしてみるとなかなか書きづらい部分もありますし、書くこ

とに勇気が求められるものでありますが、そうした想いを恥ずかしげもなくどんどん伝え続けることによって、一人でも多くパーパスに共感し、行動できるメンバーを育ていきたい、このように考えている次第です。また、先日の職業奉仕フォーラムにおいて、「4つのテスト」を社員全員と共有し、日々の行動に取り入れておられるお話をうかがいました。私自身のコミットメントをよりわかりやすく伝えていく上でも、「4つのテスト」を活かす道を検討してみたいと考えています。

2つの話をさせていただきたいと冒頭申しましたが、二つ目はすぐ終わります。前回スピーチの際に、トイブードルを飼い始めました、とお話をさせていただいたところ、実に多くの会員の皆様からペットの話題でいろいろお話をさせて頂く機会をいただきました。私自身大変参考になりましたし、その後、着々と我が家のワンワンは成長しております。この4月で2歳になりますが、以前は動物病院の常連だったところがすっかり遅しくなり、最近ではまったくかかることはありません。目を離すとなんでも食べようと危険はありますが、最近では石ころを口にする事も無くなり、少しずつではありますが落ち着きも出てきたように思います。愛情を注げば、確実に応えてくれる実感もありまして、長生きしてもらうことを最大の目標として日々しっかり育て参りたいと思います。太田会員を始め、会員の皆様方にはペットを大変長寿に導かれている先達も多くいらっしゃいますので、ぜひまたそうした面でもアドバイスを戴けますと有難く存じます。

以上で終わります。ご清聴ありがとうございました。

も高い経済成長を遂げています。アフターコロナの今、給料は毎年10%増加し、国民の全員が今日より明日の豊かさを信じています。また成長が著しいということは変化のスピードも相当なもの。ベトナムではインフラや産業構造、住宅環境やサービスなど、幅広い分野で大きな変革が起こりつつあります。

ロータリーの重点分野を踏まえて聞いてください。



経済発展の中で課題も見えてきています。それは都市部と地方の経済格差が一段激しくなっていることです。

特に地方都市に住む少数民族は貧困家庭が多く、仕事も農業や林業などで月収が約6,000円です。その為、日常の足であるバイクや自転車も購入できず、子供たちは約5キロ~10キロの距離を1時間~3時間くらいかけて徒歩で通学をしているのが現状です。また、少数民族は、それぞれの言語を使用しており小学校の初等教育では「ベトナム語」を習わなければなりません。少数民族が居住している地域によっては中高年の多くがベトナム語を理解できないため、学校に通う生徒もベトナム語で話す教師とのやり取りが容易ではなく、さらに、貧困家庭の生徒たちは学校を休んで家計を助けるために働いているとも聞きます。これらの要因で、学校に来なくなってしまう生徒達もいます。

**国際奉仕担当例会**  
**「主要都市と地方都市の地域格差（生活環境など）**  
**について」**  
**～ベトナム国内で家庭訪問や各省への出張を通じて**  
**感じたこと～**



鈴木伸昭国際奉仕委員長

今回の卓話では、私の仕事で出張でよく行くベトナム国の紹介と地方都市の DAK LAK 省の「NGUYEN THI MINH KHAI 学校」の問題点の話をしました。

**ベトナム国の概要**

- ・政治体制：社会主義
- ・人口：約98,506千人
- ・ハノイ：8,331千人、ホーチミン：9,167千人
- ・平均年齢：31.9歳（日本は48.4歳）
- ・宗教：仏教・カトリック・カオダイ教など
- ・気候：北部→亜熱帯気候  
南部→熱帯モンスーン気候
- ・1人当たりの平均年収：約320,000円（月約26,000円）
- ・多民族国家：54の民族→少数民族53とキン族  
少数民族は総人口の14%、残り86%はキン族

経済発展のど真ん中にあるベトナム。国民の平均年齢は31歳。ベトナムは、コロナウイルス蔓延期間もGDPはプラス成長を維持し、またどの国よりも早くコロナ以前より



少数民族の家

エテ族、ムノン族

**NGUYEN THI MINH KHAI学校**



**学校の施設**





### ① 小学校の家族たち家計の問題

- 「NGUYEN THI MINH KHAI学校」の生徒数は約430名。
- ・生徒の60% (258名) が少数民族の「エデ族」「ムノン族」等であり、職業の大半は農業や林業であり経済的には厳しい。その為、自転車やバイクを購入する費用が賄うことができない。
- \*学校には、エデ、ムノン、ラオ、ザ・ライ、タイ (THAI) ムオン、タイ (TAY)、ダオ、ホア、ヌンの10の少数民族が混在している。
- ・少数民族の貧困家庭の月収：約6,000円、日当たり200円
- \*ベトナム国1人当たりの平均月収：約320,000円 (月約26,000円)
- \*DAKLAK省には53の少数民族のうち44の少数民族が集結している。

### ② 少数民族の生徒たちの問題

- ・少数民族は、それぞれの言語を使っており書き言葉を持つ民族は少ない。「ベトナム語」を初等教育等で習わなければならない。
- \*政府の見解は、ベトナムの権力につながる言語がベトナム語である以上その学習をしなければならない。
- ・少数民族が居住している地域によっては、中高年の多くがベトナム語を理解できないため、学校に通う生徒もベトナム語で話す教師とのやり取りが容易ではない。
- ・先生たちも教育に苦慮している。

### ③ 少数民族の生徒たちの留年・退学の問題

- ・ベトナムの義務教育は9年間。1年生～5年生が小学生。6年生～9年生が中学生。毎年進級テストがあり、ベトナム語の理解度が低い生徒たちは留年、退学してしまうこともある。
- ・少数民族の生徒は、貧困のため家計を助けるために働いていることが多くなかなか出席しないのが問題となっている。また、生徒の親も成績にあまり関心がなくそれが原因で留年、退学してしまう生徒達もいる。
- \*生徒達の仕事は、牛の糞やゴミの回収する等の仕事をし少額のお金を稼いでいる。

### ④ 少数民族の生徒たちの通学の問題

- ・生徒の大半は5キロ～10キロの距離を徒歩で通学をしている。毎日、片道約1時間～3時間以上かけて通学をしている
- \*家計が厳しくバイク等を購入することができない。親が送迎できない。
- ・雨が降ると道路が舗装されていないため、さらに通学に時間がかかる。
- ・そのため、週2日～3日学校を休んでしまう生徒たちがいる。
- ・学校教育が疎かになってしまう。
- ・放課後の時間も制限されてしまいスポーツや芸術などを楽しむ健康的な生活を送ることができない。
- ・通学に時間がかかるため、親たちの心理的不安が発生してしまう。

### ⑤ 少数民族の識字率の問題

#### 識字率の向上 (ホーチミンさんの影響)

1945年識字率は5%となっていました。  
今識字率は98.3%です。

どうして1945年に識字率はそんなに低いのか?

1945年はホーチミンさんは独立宣言を出しましたが、まだ戦争中でした。

ホーチミンさんによって、平民学務という作戦をあげました  
1945年9月8日から1946年9月8日までの1年間に74,957の平民学務の教室が開かれ、2,520,678.人が識字を達成した。

21

2月16日のフォーラムでは、今回の卓話で紹介した「NGUYEN THI MINH KHAI 学校」では色々な問題があります。ロータリーの7つの重点分野を踏まえて「NGUYEN THI MINH KHAI 学校」でどのような奉仕活動を創造できるかを幅広い世代で活発な意見を出しあって頂きます。

よろしく願いいたします。



#### ★ニコボックス

山本雅久・高井龍雄：国際奉仕担当例会、鈴木神昭委員長よろしくお願ひ。  
梅田英樹：誕生日をお祝い頂き。  
高橋哲也：ロータリーの友読みどころを紹介させて頂き。  
太田和彦・中村信祐：会員スピーチをさせて頂き。  
鈴木神昭：卓話をさせて頂き。よろしくお願ひ。

井上 穂・小久保拓吏・

鵜殿健次・太田和彦：ノブがんばれよ！！

山口幹夫：ロータリークラブの行き帰りはロータリーの友人が応援してくれています。いつもありがとう。今日は山本会長でした。

鵜殿健次：ニコボックスを発表させて頂き。

鵜殿健次ニコボックス委員

#### ★幹事報告

・ガバナーノミニー・デジグネート (2026-27年度ガバナー) 選出のご報告、2024-25年度版ロータリー手帳予約のご案内が届いております。

#### ★他クラブの例会変更

■2月27日(火) 宝 飯 RC 職場見学例会